



ヤブイヌ

H I G A S H I Y A M A

Autumn
2026

ひがしやま 78

名古屋市東山動植物園情報誌



東山動植物園
Higashiyama
ZOO & BOTANICAL
GARDENS



赤ちゃんの誕生!続々!

東山動植物園では、この夏、さまざまな動物の赤ちゃんが相次いで誕生しています。6月11日にカリフォルニアアシカの赤ちゃんが誕生しました。続いて7月にはシセンレッサーパンダ、マンドリル、8月にはコビトカバの赤ちゃんが誕生。さらに、8月14日にはスダスローロリス、翌15日にはマタコミツオビアルマジロの赤ちゃんも誕生し、自然動物館では2日連続の嬉しいニュースとなりました。それぞれの母親がしっかりと子育てをしており、飼育担当者は動物たちの様子を見守りながら、順調な成長を願っています。この原稿を執筆している8月現在では、母仔の健康と子育てを優先し、非公開としている動物もありますが、元気に成長し、皆さまにその姿をお披露目できる日が楽しみです。

(飼育第二グループ 佐橋)



マンドリルの母親と赤ちゃん



スダスローロリスの母親と赤ちゃん

Contents

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 00 動物園トピックス
「赤ちゃんの誕生!続々!」 | 07 東山動物園のレッドリスト動物Vol.29
「キボシシシガメ」 |
| 01 動物園長のエッセイ
「セカンドストーリー」 | 10 植物管理人だより
「秋になって黄葉するタカノツメ」
「熱帯スイレンと温帯スイレン」 |
| 02 飼育レポート
「コサンケイの暮らす空間」 | 11 植物園 秋の花だより
「秋のおすすめ植物」 |
| 04 飼育だより | 12 植物園長のエッセイ
「記憶を呼び起こす秋の香り」 |
| 06 動物病院日誌 Vol.77
「動物の飲み薬」 | 13 植物園トピックス
「博物館実習の実習生を受け入れました。」 |

表紙／ヤブイヌ (*Speothos venaticus*)

ヤブイヌの「ヒロマル」です。2022年生まれの4歳のオスで、2024年5月に来園しました。展示場の茂みの中を駆ける姿をご覧ください。

(文／佐橋)

東山動物園サポーター募集中!!

動物園サポーター制度は、動物たちが豊かで充実した生活を送ることができるように、飼育環境改善や動物福祉などを資金面からご支援いただくものです。

サポーターの区分と金額	個人	大 人 3,000円以上 中学生以下 1,000円以上	サポーターの方に 動物や東山動物園を もっと知っていただく ために…	① 動植物園情報誌「ひがしやま」をお送りします。(4回) ② サポーターの方を対象にサポーター限定イベントを開催します。
	法人・団体	10,000円以上		

個人10,000円以上、法人・団体50,000円以上ご支援いただいたサポーターは、氏名、法人・団体名を園内に掲示することができます。

申込方法

- | | |
|--------------------------------|--|
| ① 動物園内で
手続きをしていただく場合 | 動物会館図書室で申込書を記入の上、寄付金をお支払いください。 |
| ② 郵便振込で
手続きをしていただく場合 | 振込用紙をお送りしますので、動物園サポーター事務局までご連絡ください。
サポーター事務局／公益財団法人東山公園協会 動物会館 TEL052-782-2111(内線340) |



東山動植物園は来年の3月で開園90年を迎えますが、長い歴史の中で休園を余儀なくされた苦しい時期が3つあったと思います。一つ目は、新型コロナウイルス感染症が流行し長期間の休園となりました。二つ目は、平成28年に園内の池で発生した高病原性鳥インフルエンザで10羽の鳥が犠牲となり、動物園を休園することとなりました。そして3つ目は、戦時中です。その当時は戦火も激しく、食料も不足し、もちろん動物に与えるエサも枯渇していたので、当時の職員はかなり苦労していたと思います。また、国の内務省は空襲によって危険な動物が逃げ出すのではないかと殺処分命令を出していた時期でもありました。

そのような中でも動物たちのために陰ながらサポートしてくれた二人の人物を紹介したいと思います。まず、千種区にあった中部軍管区司令部に所属していた三井高孟大尉です。軍馬用のエサ置き場を「どうぞ盗んでください」と言わんばかりにゾウ舎のすぐ近くに作り、動物園の職員がそこから抜き取って動物に与えているのを黙認してくれていました。無言の支援と表現すれば良いのでしょうか。そして当時、千種警察署長であった大野佐長氏は、ゾウの殺処分命令が出ているにもかかわらず、当時の北王園長（初代の東山動物園長）が「ゾウを殺さないで欲しい。万一の時には私が責任をもつ」との懇願を周囲の反対を押し切って聞き入れ、ゾウの処分を中止したとのこと。戦後、アジアゾウのマカニーとエルドの2頭、チンパンジーのバンブー、哺乳類や鳥類などあわせて18種の動物が生き延びたとされていますが、北王園長もこうした計らいに感謝の気持ちでいっぱいだったのではと思います。

これには後にセカンドストーリーがありました。終戦後、昭和29年に豊橋市では大きな博覧会が予定されており、その場所で動物園を再開園することが計画されていたそうです。その時の豊橋市長は千種警察署長であった大野佐長氏。交流の続いていた北王園長にそのことを相談すると、園長は快く引き受け、檻を貸したり飼育方法を助言したりするなど豊橋の動物園の再建に支援をしたとのことでした。

数年前にこの話を中日新聞の記事で知った時、大変驚いたことを今でも覚えています。動物を思う人たちの気持ちが今の東山だけでなく、豊橋（現在は豊橋総合動植物公園）にもつながっていたようで、とてもうれしく感じました。

参考 中日新聞 2019年6月17日 名古屋市の戦前の動物園動物（公益財団法人東山公園協会）

（動物園長 茶谷 公一）





コサンケイの

暮らす空間

1 はじめに

- 本園アジアゾウとスマトラトラの間のこの空間。
- ここにはベトナムの森林に生息するキジ、コサンケイが暮らしています。
- 今回はこの「コサンケイの暮らす空間」のお話です。



2 コサンケイって？

- ベトナムに住むキジの仲間です。オス(左)は体が青っぽく、頭のてっぺんには白い冠羽^{かんう}があり、メス(右)は全身茶色っぽくとても見分けやすいです。



- 野生では絶滅^{ぜつめつ}してしまっているかもしれないと言われています。

野生下の姿を見ることができないのならどうやってコサンケイらしい暮らしを提供すればいいのでしょうか。

3 ひたすらに観察

- どういった一日を過ごすのか、主な行動レパートリーはなにか、など時間の許す限り観察をしました。
- 朝は日を浴び、日中には採食^{たんさく}や探索、夕方になると木に上がり眠り^{ねむ}につく。
- なんとなく流れがわかってきたので、細かく考えてみようと思います。

4 一つの動きにどんな特徴がある？

- ①日を浴びる時は地面までよく日の当たる所を選ぶ。
- ②採食時にエサ皿のエサを足やくちばしでかき分けつつく。
- ③眠る木は壁に固定された木^{かべ}を選択^{せんたく}。
- これらをできるだけ自然に近づけ、行動レパートリーを増やすというのを狙い^{ねら}に環境づくり^{かんきょう}をしています。



5 環境づくり

- ①日の当たる場所を増やす。
- ②エサを草や落ち葉のある所にまく。
- ③自生している木に眠るための木を取り付ける。



6 新たな行動

- ①乾いた砂^{かわ}の上で羽を広げて座ったり、砂をつつきほぐして砂浴びをする。
- ②エサだけでなく、虫や生えている草もついばむ。
- ③揺れる位置にいる日、避^さける日がある。
- もともととしていた行動に絡^{から}めて今までなかった行動を増やすことができました!



7 まとめ

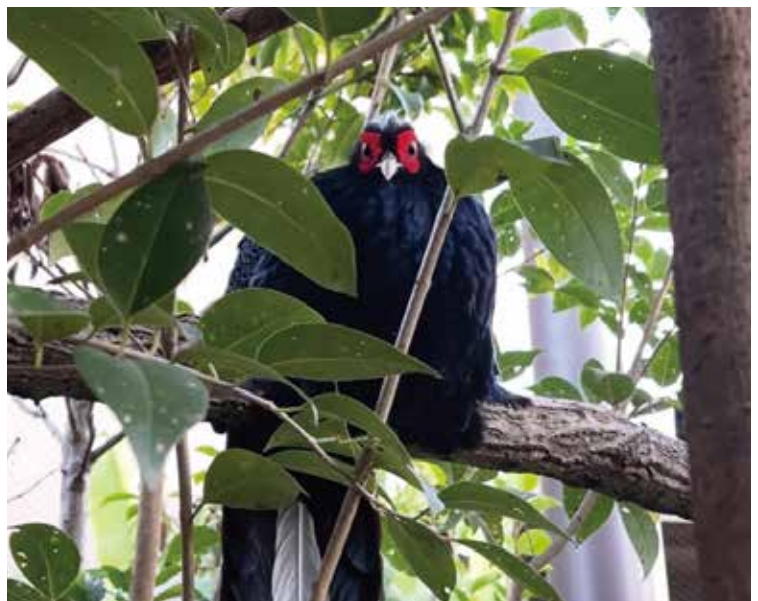
このように観察→分析^{ぶんせき}→考察→実行を繰り返^くし、性質を見つけ限られた空間の中でも引き出せるよう日々試行錯誤^{さくご}をしています。

野生下には完成された料理は置いてありません。自分で完成まで工程を刻むことで一つの行動を複数の行動に変えることができました。

そのために私たちは材料を提供します。虫を食べるなら土を耕し、植物を育て虫を呼ぶ。

あとはコサンケイ次第。

ぜひ遊びに来られた時には「この空間で暮らすコサンケイ」を観察し、楽しんでください。



飼育第一グループ3班 榊原



飼

育

アシカの赤ちゃんが 生まれました!

6月11日にカリフォルニアアシカの赤ちゃんが生まれました!お母さんは今回で6産目になるアナです。

昨年の出産や他の個体を含めアシカたちは中央にある島のトンネルで夜のうちに出産していることがほとんどでしたが、今回はお昼に、しかも^{かく}隠れることなく出産が始まっていたので驚きました。開園中の出来事に来園者の方たちも見守る中、逆子で心配しましたが順調に、そして元気に生まれ



アシカの出産QRコード

てきてくれました。

出産の様子は動物園長がブログで紹介していますので、ご覧いただけたらと思います。

この記事が掲載される頃には性別も分り、名前も決まっているかなと思います。

飼育第一グループ1班 山岸

アカコンゴウインコ・ パラダイス

バードホールには展示場のアカコンゴウインコ以外にバックヤードに7羽が暮らしています。

多くは展示場のアカオ、アカコの子達です。

過去には他園へ転出していった子もいましたが生まれた子をすべて転出することはしていません。

なぜなのか?

国内の園館で繁殖が継続されているペアは東山動植物園のペアだけ、他園では繁殖やペア形成が順調に行われていない現状があります。

ならば、東山動植物園で若いうちから他個体との社会性を経験し将来的に繁殖に寄与する個体を育てられないかと考え、飼育維持を行っています。

今年も1羽が育っています。

親の年齢も高くなってきているので今後、どこまで繁殖ができるのか未知数ですが、なんとか繁殖可能個体を増やしたいと考えています。

現在、みなさんにはご覧いただけませんが、こうした取り組みを知っていただき、アカコンゴウイ



ンコの保全や動物園で動物を飼育する意義について考えるきっかけになればと願っています。

今後は更に広い空間で東山以外の個体も受け入れ、アカコンゴウインコ・パラダイスを実現できたらという野心を抱いています。

飼育第一グループ2班 渡邊

ユーカリを守れ!

コアラの餌であるユーカリですが、動物園近隣の平和公園だけでなく静岡県浜松市浜名区引佐町でも栽培されています。自然豊かな山間の中、浜松市を中心に、森林整備、林業事業など森を守る仕事を展開している引佐森林組合さんに管理をお願いしています。

そこで栽培しているユーカリでは動物による被害があり悩ましく、現場を知る引佐森林組合の方と試行錯誤をしながら対策

をおこなっています。

被害は、数年前から目につくようになりました。特にユーカリの苗を植栽すると、パクッと葉や幹を食われてしまいましたが、その正体はウサギです。

数年前から被害が広がりだしたので対策に乗り出しました。その方法として、ユーカリの苗をアミで覆うことで保護することにしました。材料は園芸にも使われるプラスチック製のアミを使い丸めて円柱状に加工しました。高さや固定方法などは実際に設置してもらって引佐森林組合と協議し、設置までお願いしました。

そしたらさらにその上からパクッと食べら

れていました。

保護ネットの高さでウサギの被害は免れたと思われませんが、次なる正体は鹿です!次なる対策が悩ましい状況が続きます。



ネットから上で食べられちゃいました

飼育第一グループ4班 平林

もうきん

猛禽舎の仲間たち

猛禽舎は北園遊園地入り口（スロープ）の両わきにまたがり、左側には4室つながった1棟、右側には2室つながった1棟の鳥類舎であり、1981年に建てられました。

左側の1棟の左の部屋から順に紹介していきます。

1室目には2羽のダルマワシ（オス、メスともに1993年4月来園）

2室目には1羽のクロコンドル（オス

1978年9月来園）

3室目には5羽のヒメコンドル（メス2羽ともに1997年5月来園、オス1羽2004年4月生、オス1羽メス1羽ともに2011年6月生）

4室目には1羽のメンフクロウ（メス2018年5月生）

計9羽が暮らしています。

スロープを挟んだ右側の1棟にはアンデスコンドル2羽（オス1990年5月生、メス1993年5月生）が暮らしています。

猛禽舎では11羽の鳥たちが暮らしているので会いに来てください。



北園遊園地入り口（スロープ）右側



北園遊園地入り口（スロープ）左側

飼育第二グループ1班 水谷

アメリカドクトカゲの体調管理

4月にドクトカゲの担当になった当初から、便の状態が悪く心配でした。4月下旬に下痢と未消化の便が続いたため獣医師に診て頂き投薬により腸の改善に努めました。次に体重増加に取り組みます。5月上旬にピンクマウス2匹を1日おきに給餌して便の状態を確認し様子を見ました。投薬が終わって2日目には軟便だが黒色に変わり良い傾向になりつつあるのかな？と感じました。5月中旬に検便を実施するも

異常は検出されなかったため、5月下旬にピンクマウスからファジーマウスへのサイズアップに加え、ウズラ

のヒナを給餌し、ようやく5月28日に爬虫類らしい黒い固形便になりました。その日からファジー2匹とウズラ1匹を給与し2日おきに給餌し便の状態を確認しています。その後、便の状態が良かったため6月下旬からウズラを1匹増やし3日おきに給餌して



脱皮中のドクトカゲ



月に一度の体重測定

います。6月の体重測定で5月より91g増え3ヶ月で初めての増加でした。引き続き給餌方法と便の状態に注視して体重増加に取り組みます。

飼育第二グループ2班 猿渡

新しいメダカが仲間入りしました

先号の表紙に掲載されたカリンバメダカは2022年に記載されたインドネシアのスラウェシ島中部のカリンバ湖と周辺の川に生息するメダカです。（写真1）メスは受精卵を孵化まで腹部で守る腹鰭保育をします。飼育下では、産卵から孵化まで12日間要し、孵化後1週間で再びメスは産卵をします。（写真2）孵化した稚魚数から推定すると、卵数は最大で64卵もあり、繁殖力がとても強いと感じています。孵化した稚



写真1（オス・全長6cm）

魚は7mmと日本のメダカの5mmより大きく、孵化後5ヶ月ほどで性成熟し繁殖することができます。

導入した個体が親となりバックヤード水槽で順調に繁殖し、その子メダカが親とな



写真2（孵化間近の卵を抱えているメス・全長6cm）

り無事に産卵をして世代をつなぐことができました。本号が発行された頃には展示水槽でご覧いただくことができる予定です。

飼育第二グループ3班 田中

動物園で飼育している動物たちは、健康に生活できるように気を付けながら飼育していますが、病気や怪我^{けが}をしてしまうことがあります。

そういったときには、治療^{ちりょう}の一環として薬を処方することがあります。

薬の種類は投薬方法で分けると。注射薬、飲み薬、塗り薬、目薬などがありますが、東山動植物園では多くの場合は飲み薬を使うことが多いです。

注射薬や塗り薬などは、投薬の時に動物に近寄るか捕まえるかする必要がありますので人や動物にとって危険になることがあります。飲み薬はえさに混ぜることで投薬ができるので、人と動物のどちらにもストレスが少なく済みます。飲み薬は薬の形がさまざまあり、粒^{つぶ}（錠剤^{じょうざい}）や粉、液体（シロップ）など、えさのあげ方に合わせて形を選ぶようにしています。



いろいろな飲み薬

えさを丸呑み^{まるの}する動物には錠剤をえさに埋め込む^{うこ}のが簡単ですが、粉の薬を飲んでほしいときにはカプセルに入れて処方することがあります。

においや味を気にする動物や手先の器用な動物は、錠剤をよけてしまうことがあります。そういった時は、粉の薬を

出すことがあります。粉の薬であれば、柔らかくしたえさに練りこんだり、えさの表面にうすくまぶしたりでき、薬だけを吐き出すことを防止できます。投薬したい薬が錠剤しかない時には、錠剤を砕^{くだ}いて粉にすることもあります。



錠剤を分割して処方することもあります
(写真は1cmの錠剤を16分割したもの)

シロップは甘く味付けがしてあるので飲みやすくなります。モルモットやプレーリードッグのような小型の草食動物には、薬の入った注射筒をくわえさせて少しずつ薬を出すと抵抗なく飲めることが多いです。しかし、甘みを好まない動物は味を嫌^{いや}がることがありますし、大型の動物には大量の液体が必要になるので飲み切らせるのが難しいという欠点もあります。

動物は人のように自分から薬を飲んでくれないので、動物ごとの食べるものや食べ方に合わせて薬を変えなければいけません。そのためにも、動物に対する知識や日々の観察がとても重要です。

(指導衛生グループ 提坂)

【動物取扱業登録】

名称:名古屋市、事業所の名称:名古屋市東山総合公園、事業所の所在地:名古屋市千種区東山元町3-70、動物取扱業の種別:展示、登録番号:第0701027号、登録年月日:2007年6月1日、登録の有効期間の末日:2027年5月31日、動物取扱責任者:茶谷公一

レッドリストとは、IUCN(国際自然保護連合)が1986年から刊行している世界で絶滅の恐れがある野生生物種のリストです。2025年においては11,494種が「絶滅の恐れのある動物種(脊椎動物)」として掲載されています。また各国の政府機関や地方自治体等で独自に作成しているリストもレッドリストと呼ばれます。

キボシシガメ

分類：爬虫綱 カメ目 ヌマガメ科 キボシシガメ属

学名：Clemmys guttata 英名：Spotted turtle

分布：カナダ(オンタリオ州、ケベック州)、アメリカ合衆国(メイン州からフロリダ州にかけての東海岸、ミシガン州等の五大湖周辺)

絶滅危惧種：EN (IUCNレッドリスト2010評価) ワシントン条約付属書II



ブランディングガメのぬいぐるみ

EN
2011 IUCN
レッドリスト

絶滅種 (EX/EXTINCT)	絶滅が確認された
野生絶滅種 (EW/EXTINCT IN THE WILD)	野生では絶滅した
絶滅危惧IA類種 (CR/CRITICALLY ENDANGERED)	絶滅寸前の状態にある
絶滅危惧IB類種 (EN/ENDANGERED)	近い将来絶滅する恐れが高い
絶滅危惧II類種 (VU/VULNERABLE)	絶滅の恐れが高い

キ ボシシガメは、漆黒の滑らかな楕円形の甲羅を持ち、濃淡と大きさが異なる鮮やかな黄色またはオレンジ色の斑点があります。年齢とともに斑点が増えます。四肢と首の下面はピンク色です。甲長8～13cmの小型のカメです。

底 が柔らかい湿地、沼地、泥炭地、河川の汽水域などに生息しています。雑食で、水生昆虫、ナメクジ、甲殻類、オタマジャクシ、死んだ魚、藻類、そしてクランベリーを含む水生植物などを餌としています。

冬 眠から目覚めた直後に始まる求愛行動では、オスが陸上や水中でメスを積極的に追いかけ、20分ほどかけて尾や後ろ足を噛み、浅瀬で交尾します。メスは精子を最長4年間貯蔵することができます。冬の寒さが厳しい地域で冬眠中に仲間のオスのカメが死亡しても、春に交尾相手を探す必要がないよう種の保存のために適応した結果だと考えられます。

キ ボシシガメは昼行性ですが、涼しい気温を好むため、暖かい季節になると昼間を避けて早朝と夕方に活動します。南部の生息域では夏の暑い時期に夏眠を行います。

池 や湿地が開発や耕作地の拡大のために干拓されることで生息地が失われており、個体数は減少しています。多くの個体群は道路や開発によって分断され、遺伝的多様性も低下しています。排水による池や湿地の汚染やペット目的・商業取引のための捕獲も脅威となっています。

先 日来園されたカナダのトロント動物園のドルフ園長から、保全活動のシンボルとなっているブランディングガメのぬいぐるみをいただきました。ブランディングガメはキボシシガメと同じ地域に生息する絶滅危惧種です。トロント動物園のあるオンタリオ州ではキボシシガメは法的に保護されていて、トロント動物園では地元のカメの保全活動を積極的に行っています。

(動物園 白木)

抽選で
当たる!
プレゼント

A賞

名古屋銀行
オリジナルツアー

10グループ(各5名まで)

B賞

東山動植物園
オリジナルグッズ

50名まで

8月15日・2月15日を基準日として、東山動植物園に往
定期預金に10万円以上の振込があるお客さまを対象
に抽選を実施しています。※窓口でのみお申し込みいた
だけます(東京支店、大阪支店、インターネット支店、
ATM、ローンセンター、各プラザを除く)。※A賞・B賞
の詳細はご当選者さまにお知らせいたします。※賞品
は選べません。※賞品の内容は予告なく変更・中止と
なる場合があります。

動物たちをそっと支える



名古屋銀行では、『いのちつなぐパートナー』として
毎年、動物たちのえさ代等にお役立ていただく寄付を実施しています。

※お客さまのご負担はございません。

名古屋銀行

東山動植物園
応援定期預金



名古屋銀行は
東山動植物園を
応援しています



名古屋銀行

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

名古屋銀行は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

読者の声 ~76号アンケートより~

ボタニカルトークに
参加してみたいと思います。



チンパンジーのカズキくんに会いに
来園しました。好奇心旺盛な様子で
遊びながら沢山のことを覚えていっている
姿がとてもかわいらしく印象的でした。



めずらしい植物の
情報が楽しい。いろいろ
リニューアルされて
これからも楽しみです。

「レグルスの一年」
レグルスについて
詳しく教えて頂き
ありがとうございます。



動物園に
CTまで
あるとは思
いませんでした。

秋から800円に値上がり
しますが、動物園、植物園も
見られ一日楽しめるこんな
スバラシイ施設はありません。

「ひがしやま」をいつもすみずみまでじっくり読んで
楽しんでいます。記事を書いたり写真を撮ったり
大変だと思いますが、これからもよろしく
お願いします。次号を首を長くして待っています。



YouTubeインスタたのしく
拝見させていただいています。
お忙しい中
ありがとうございます。



サイがシャワーを浴びて
気持ちよさそうにしている
姿が印象的でした。



桜の回廊とてもきれいでした。
いろいろな品種があり
長く楽しめるのもいいですね。



東山の桜が大好きで毎年お花見を楽しんでいます。
いろいろな種類があるので圧巻です。
お手入れ大変ですが、これからも応援しています。

ひがしやま 77 号のクイズの答え

Q ゾウは人間と違って、一生の間に何回歯が
生え変わるでしょうか。



- ① 3回
- ② 5回
- ③ 6回

A

正解は
②
5回
でした。

東山動植物園 ＊北園＊

＊遊園地＊

大観覧車

名古屋の街を
みわたそう



ジェットコースター

風を切って
走る!



*1Dayパスポート・お得なチケット及びアトラクションの利用制限など
詳しくはホームページをご覧ください

URL: <http://www.higasiyama.jp/>



Café North Garden

カフェ ノース ガーデン



shop North Garden

ショップ ノース ガーデン



●動物ソフト3種類



●コアラカレー



●オリジナルコモドオオカゲグッズ



●ジオラマランチチョコ



植物管理人だより

秋になって 黄葉するタカノツメ

タカノツメは、東海地方の雑木林や里山の自然林でごく普通にみられる落葉樹です。白く柔らかな材から「イモノキ」とも呼ばれます。葉がまだ緑色の頃には、雌木に黒く熟した実がつき、鳥に運ばれた種は植栽地など思いがけない場所でも芽吹きまします。切られても株元から芽を出す強さがあり「また生えてきた」と若いうちに引っこ抜かれることもあります。葉や枝を折ると少しふわりとスパイシーな香りが…。タラノキやウド、コシアブラと同じウコギ科の木で、春の若芽は山菜として食べられます。コシアブラは5枚1組ですが、タカノツメは3枚1組の葉が多いです。



そんな、名前は勇ましくても、風景に溶け込むように生えているタカノツメをみつけて、森のなかで優しい黄色へと色づいた葉を見ていると、気づけば秋は静かに

深まってきているのかもしれませんが。ぜひ気持ちのいい秋のお散歩を、お楽しみください。

緑地造園班 渡部

熱帯スイレンと 温帯スイレン

植物園の前にはスイレン池があり、温室の入口を背面に、右側には温帯スイレン、左側には熱帯スイレンが鉢の中に植えて（沈めて）あります。

熱帯スイレンはアフリカや南米などの熱帯地域に生息し、一年中暖かい気候を好みます。耐寒性がないため、水温が15℃以下になると枯れてしまいます。一方、温帯スイレンは日本を含む温帯地域に分布し、温帯スイレンは耐寒性があるため屋外で冬を越すことができます。冬は休眠して葉が枯れますが、春になるとまた芽を出します。

ご存じのように、花の咲き方も違いがあります。熱帯スイレンは水面より高い位置に



熱帯スイレン

花を咲かせ、青や紫などの寒色系の花色や夜に咲く品種もあります。温帯スイレンは水面に花を咲かせ、白、赤、ピンク、黄色の4色で、すべて昼咲きです。

熱帯スイレンと温帯スイレンは増やし方も違います。熱帯スイレンは球根を分球し（手でコロッととれる）、温帯スイレンは根茎を株分けして（ハサミで切り分けて）増やします。

どちらかといえば温帯スイレンのほうが増やすのは簡単です。

さらに、管理方法も異なります。熱帯スイレンは冬になって気温が下がると枯れてしま



温帯スイレン

うので、秋に掘り上げて、バックヤードの温室で休眠させてから、また春に植え戻します。温帯スイレンは春に植え替えを行い、耐寒性があるため翌年の春まで枯れることはありません。鉢植えの中では、一年で根茎が鉢いっぱい広がるため、植え替えの際に掘り上げて株分けを行います。

熱帯スイレンも温帯スイレンも綺麗な花を咲かせるおすすめの植物です。ぜひ育ててみてはどうでしょうか。

指導園芸班 山田

～紅葉が楽しめる植物園の巨木たち～

今号は植物園から花だよりではなく、紅(黄)葉を楽しめる秋の巨木だよりをお伝えします。植物園では晩秋を迎えるころもみじ狩りと紅葉ライトアップが行われ、多くの来園者でにぎわいます。特に也有園から奥池、合掌造りの家、日本庭園、星が丘門広場へと続く合掌線のイロハモミジとオオモミジは赤、黄色、緑の様々な色に染まり色づき五色もみじと呼ばれており、東山動植物園の風物詩にもなっています。ただ、東山植物園ではもみじやカエデ類以外でも美しい紅(黄)葉を見ることができ、代表種ではない植物でも美しい紅葉が見られます。そんな紅(黄)葉する、植物園内の巨木を紹介します。

●アベマキ *Quercus variabilis* Blume ブナ科

日本(本州(岩手県以南)、四国、九州)・朝鮮・中国・台湾に分布しています。植物園内の森に多数あり、コナラとともに森を構成している代表的な落葉広葉樹です。どんぐりはイガイガの殻斗(上部にできる帽子状の蓋)を持ち、子どもたちに人気があります。秋の紅葉は木全体を黄色から褐色に染め上げ美しい姿を見せられます。お花畑の最も奥のアベマキの大木の隣に、樹木名から名付けられたアベマキデッキがあります。デッキの上から西側を見れば名古屋駅のはじめとするビル群を眺められますよ。



アベマキ(遠景)



アベマキ(近景)

●ラクウショウ *Taxodium distichum* (L.) Rich. var. *distichum* スギ科

北米東南部・メキシコ原産で湿地を好み、別名ヌマスギと呼ばれ、気根(呼吸根)が発達します。漢字は落羽松で、紅葉している木全体の姿がまさにその名を表しており、無数の細長い葉が赤茶色に染まり、壮観な姿を見せられます。植物園には宿根草園やしゃくなげの森で見ることができます。紅葉もさることながら、宿根草園からニョキニョキと生え出た気根も見ごたえがあり、来園時に宿根草園で探していただくと面白いですよ。



ラクウショウ(遠景)



ラクウショウ(近景)

●フウ *Liquidambar formosana* Hance フウ科

中国中南部・台湾原産で日本には江戸時代に渡来しました。中国では楓香樹と呼ばれ、日本でカエデに表す「楓」の字があてられています。「楓の木(フウノキ)」ということのようです。中国ではカエデを表す漢字は「槭」でした。

名古屋市内の街路樹に多く使われ、別名でタイワンフウとも呼ばれます。この写真のフウは花園橋のバラ園側の橋のたもとに位置し、遠景には遠くに東山スカイタワーが写っていて、かなりの巨木であることが伺えます。



フウ(遠景)



フウ(近景)

記憶を呼び起こす秋の香り

記憶を呼び起こすもののひとつに、香りがあります。秋の山野で感じるさまざまな香りの中で、私が最も好きなのは、カツラ(Cercidiphyllum japonicum Siebold et Zucc. ex Hoffm. et Schult.)の落葉^{あま}の甘い香りです。毎年秋になって、その香りを嗅ぐと、子どもの頃^{こころ}の記憶を懐かしく思い返します。この甘い香りを「みたらし団子の香り」や「キャラメル^{なつ}の香り」と感じる方もいるようです。

この甘い香りのもと、「マルトール」という天然の有機化合物です。マルトールには焼き芋^{いも}のような上品で甘い芳香^{ほうこう}があり、パンや焼き菓子^{がし}などの食品添加物・着香料^{てんかぶつ}として広く利用されています。カツラの葉に含まれるマルトールの含有量^{がんゆうりょう}は、緑葉では少なく、黄葉が進むにつれて増加することが知られています。人間と同じように、老成するとその持ち味が増すのでしょうか？冗談はさておき、マルトールはカツラ以外にも朝鮮人参^{じょうだん}やモミなどの針葉樹にも含まれています。

ところで、カツラの名前の由来にも、この香りが関係しているとされます。葉から甘い香りが放たれることから、「香りが出る」を意味する「香出(かづる)」が転じて「カツラ」になったという説が有力なのだそうです。

カツラは日本原産の落葉高木で、北海道から九州までの冷温帯^{けいりゅう}の溪流沿い^{きよぼく}に分布します。水を好む樹木で、適地だと樹高35mにもなり、天然記念物に指定されるような巨木も多数存在します。そんなカツラにとって、東山動植物園は少し暑くて乾燥気味の環境^{かんきょう}かもしれません。

また、カツラの花は葉が展開する前の春先(4月頃)に咲きます。小さな赤い花には花弁^{ひか}もがくも無く、とても控えめ。雌雄異株^{しゆう}のため、雄花と雌花では少し形が違います(写真は雄花)。葉は可愛らしいハート形で対生し、春の芽出し^{さわ}の爽やかな黄緑も美しいですが、秋には透き通るような黄色に色づき、野山^{いりど}に彩り^そを添えます。

その美しい樹形や黄葉が海外でも愛され、「Katsura Tree」と呼ばれて公園などに植えられています。また、その甘い香りから、「キャラメルツリー」や「キャンディフロストツリー」と呼ばれることもあるそうです。

東山動植物園では、植物園門の脇、日本庭園の園路沿い、そして星が丘広場のカート乗り場の近くでカツラを見ることができます。この秋は是非、カツラの美しい黄葉と、その甘い香りを楽しんでみてください。思いがけず、遠い日の記憶^{よみがえ}が甦るかもしれません。

(植物園長 平泉 智子)



博物館実習の実習生を受け入れました。 みなさん、「学芸員」ってご存じですか？

学芸員は、博物館法に基づき、資料の収集、展示、教育普及活動等を行う国家資格を持った専門の職員で、博物館や美術館、動物園、植物園等の文化施設で働いています。

学芸員になるための一つの方法として、「大学で博物館実習を含む必要な単位を取得し卒業する」があります。東山動植物園は博物館相当施設(指定施設)で、博物館実習の受講が可能のため、毎年多くの学生さんが応募してくれます。今年は植物について研究している10名の学生が実習をしました。

実習は7月16日(木)～21日(火)の5日間(19日(日)はお休み)の日程で行いました。植物の栽培から、小学生向けプログラムの補助や企画の作成等様々なことを行ってもらいました。植物好きのみなさんですので興味深そうに職員に質問したりしながら積極的に取り組んでくれました。

夏休み特別講座では、小学生を対象に「たね」というテーマの講習会の手伝いです。珍しい種をみて種の生存戦略(種の飛ばし方)について「軽いね。空飛ぶかな?水に浮くかな?」等と議論をして考えた後に、実際にどうなるかを実験で確認するものでした。実習生の皆さんは、興味を持ってもらえるように問いかけたり、共感したり、実験のサポートをしたりしてくれました。子どもたちはとても楽しそうに取り組んでくれました。



夏休み特別講座の様子

また、現在工事中の植物会館に新しくできる環境学習室で行う「植物を楽しむためのプログラム」を考えてもらいました。植物をじっくり観察するものや、クラフト体験、動画を使ったプログラム、なぜ解き等本当に様々な提案がありました。最終日に行った発表とディスカッションでは、「こういう植物でもやってみたら面白いのでは?」や「対象年齢小学生ってなっているけどもっと深掘すると大人に受けそう」等々の活発な意見交換ができました。新鮮な視点で考えられた企画はどれも素晴らしく、実際に取り入れてみたいと考えています。



実習生のプログラム企画案(一例)

裏表紙/ノブドウ *Ampelopsis glandulosa* (Wall.) Momiy. var. *heterophylla* (Thunb.) Momiy.

まるで宝石のように輝くノブドウの実。本来は赤紫色ですが、ブドウタマバエなどの幼虫が寄生することで、青や水色、紫などさまざまな色に変化するといわれています。生き物たちの関わり合いが生み出す、自然の不思議を感じさせてくれます。(文/今井田)

ひがしやま
78号 2026 秋

発行所/公益財団法人 東山公園協会
〒464-0803 名古屋市千種区田代町字瓶根1-62
TEL 052-782-2111 (内線340)

協力/名古屋市東山総合公園
発行日/令和8年9月30日



ノブドウ

H I G A S H I Y A M A

Autumn
2026

ひがしやま 78

名古屋市東山動植物園情報誌



東山動植物園
Higashiyama
ZOO & BOTANICAL
GARDENS

